



# The Star in the West

## 東京西ワイズメンズクラブ会報

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

THEY'S MEN'S CLUB OF TOKYO-NISHI(03)3202-0342

c/o TOKYO YMCA YAMATE CENTER,2-18-12 NISHIWASEDA,SHINJUKU-KU,TOKYO 169-0051,JAPAN

- 国際会長主題 “On the Move!!” 「さあ 動こう!!」
- アジア会長主題 “With Pride and Pleasure” 「誇りと喜びを持って」
- 東日本区理事主題 「みんなで力を合わせて、1・2・3」
- あずさ部部長主題 「入会時の“ときめき”と多くの経験をワイズのために！」
- 東京西クラブ会長主題 「いつも自然体で！ 楽しい例会参加を」

### 2020年6月号

NO 525

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。 新約聖書テサロニケの信徒への手紙 5章16～18節

### 災害に翻弄されたこの1年

篠原文恵

昨年7月はアジア太平洋地域大会の盛況もあり、和やかな出発でした。しかし秋の台風シーズンに入り、あずさ部では東京八王子の25周年祝会、東京たんぽぽ・東京八王子クラブのチャリティーコンサートが中止となり入念な準備をした両クラブの努力が流れてしまいました。

年が明け、中国発原因不明の伝染病発生に接し、最初は中国人が大勢出稼ぎに行っている中東・アフリカでの感染を心配していましたが、医療先進国のドイツでの死者数が1,000人を超えたあたりから、これはただならぬ事態と毎日TVニュース発掘、新聞記事を熟読するようになりました。夕方になると、試験結果を待つようにその日の感染者数を確認しないと落ち着かない毎が続いています。案の定、会長・部役員研修会中止やDBC台北セントラルクラブへの祝会出席断念、甲府ク

ラブ70周年祝会、第3回あずさ部評議会、東日本区大会まで中止となり、秋以降の行事予定も危うくなっています。

しかし、東京武蔵野多摩クラブの渡辺大輔氏が「Change 2022」に寄稿されたように「こういう時だからこそITツールを」ということでLINE、Skype、Zoomなどの説明がありました。まだまだ先の事、若い人にお任せと思っていたITが身近に迫ってきました。わがクラブではメール連絡がやっとという現状ですが、出来る人から積極的に活用してもらい、新しい時代に即応して行かなければならないようです。

会話も会食も向き合うことを許さず、人との繋がりを大切にしたい我々には辛い季節ですが、一つの救いは「手紙」というツールが見直されているようです。それぞれの得意なことで、この閉塞感を突破したいものです。

### WHOウォーキング 10月から再開します

2月を最後に中止していたWHOウォーキングを10月から再開すべく準備を始めました。

7月、8月は毎年夏休みですが、9月も熱中症と7か月振りということもあり、10月からゆるやかに始めることにしました。

「泣く子とコロナには勝てません」。三密に十分注意して、その中で、私たちらしさを出していきたいと考えています。

幸いなことに昨年末から、他クラブのワイズの友人、ウォーキングの指導者、ラジオ体操のリーダー、加えて、杉並YMCAの元スタッフと、心強い方が参加しています。元リーダーのOB・OGの参加も期待できます。

24節気の内、「啓蟄」から「霜降」まで休むことになりました。少しずつ取り戻していきます。

10月のコースは、9月に下見をして決めます。

### クラブ役員

- 会長 篠原文恵
- 副会長 大野貞次
- 書記 神谷幸男
- 会計 高嶋美知子
- 担当主事 横山弥利

5月の記録		ニコニコ	円
在籍者数 12人 (内功労会員) 1人	メネット 一人	クラブファンド(当月)	円
出席者数 一人	コメント 一人	クラブファンド(残高)	165,358円
メーキャップ 一人	ビジター 一人	ホテ校ファンド(当月)	0円
出席率 ー	ゲスト 一人	ホテ校ファンド(残高)	63,466円
前月修正 ー	出席者合計 一人	WHO参加者	一人

## 6月例会・総会は7月に

6月例会とその中で行われるクラブ年次総会を中止します。

クラブ活動における感染症対策については、安全対策の強化や運営方法について改善点を探っています

予定したクラブ年次総会は、7月例会で行う予定です。報告書は事前に郵送しますので、読んでおいて、自由に発言してください。

今月の強調テーマ：評価

## 事務会報告に代えて

### ▼6月事務会

中止になりました。

### ▼7月例会

日時：7月16日（木）19：00

会場：ウエルファーム杉並4F

◎横山弥利主事の入会式

◎クラブ役員交代式

◎ホテル学校生への奨学金贈呈式

◎クラブ年次総会

### ▼7月事務会

日時：7月24日（金）16：00

会場：ウエルファーム杉並4F

7月23日は会場の都合で部屋が予約できず、祭日でもある翌24日夕方に時間を変更しました。お間違えのないように。

（会長・篠原文恵）

## 提言①クラブ活動の方向性

クラブにとってボランティア活動は「いき（呼吸）」であり、そのクラブの魅力を醸し出す源泉であると言えるでしょう。この魅力がクラブの持つ求心力であり、会員増強の「切り札」と言えます。

わがクラブにあっては活力の点では強力であるとは言えないけれども、例会の充実さにおいては全員がボランティア精神を余すところなく発揮して例会を盛り上げ、例会の意義深さ、楽しさ

を満喫していることは嬉しい限りであったと思います。

あとは、地域のYMCAにも目を向け、また地域社会への奉仕活動を視野に入れて高齢者の集団なりの可能な業を見出して一歩踏み出したいと思います。

更に少し幅を拡げて、例えば世界レベルで社会貢献活動している多くのNGOの働きを意識し、そのうちのあるNGOに絞ってその活動を支援するなど視野に入れることも選択肢の一つでしょう。この場合は寄付と言うこととなります。（神谷幸男）

## 提言② IT会議のテスト体験を

東京クラブのインターネット雑談会（飲み会）と同例会に参加しました。新しいことは得意ではありませんが、これが出来ないと言ったからです。

ノートパソコンでもスマホでもできましたし、接続も言われる通りにやったらびっくりするほど簡単です。顔しか映りませんから部屋の片づけも不要です。

初めて、何も知らずに参加しても、恥もかきませんし、迷惑にもなりません。映像を使った東京YMCA中里教主任主事の被災地支援報告などは、例会場よりも集中して聞けました。

夏の間にクラブ有志の勉強会をやりませんか。（吉田明弘）

## 東京山手クラブが解散

1953年創設の東京山手クラブが、残念ながら6月末日をもって解散することになりました。当初解散例会を開く予定だったのですが、コロナ感染自粛対策のため中止となり、ラストメンバー11人の連名でご挨拶状が会長宛に郵送されてきました。

メンバーの皆様が新しい場所でそれぞれ活躍なさるといことなので、各部会や区大会での再会を願っています。

## YMCA Today

■新型コロナウイルス感染拡大防止のため各センター等に営業時間の変更がございます。スタッフの出勤は不定期となりますが、メール確認は常に行っております。ご不便をおかけし申し訳ございません。なお、緊急事態宣言の回避が前提の各センターの状況です。

- ・山手コミュニティセンター  
5月末日まで休館。
- ・南コミュニティセンター
- ・西東京コミュニティセンター  
6月1日まで休館。
- ・東陽町コミュニティセンター  
5月末日まで休館。
- ・ウエルネス東陽町 水泳・テニススクールは5/31まで休講
- ・本部事務局  
5月以降はカレンダー通り、時間は午前10時～午後4時。

■5月23日に予定されていた「第18回会員大会」は中止。事業報告や会員部運営委員推挙は機関紙に掲載。卒業リーダーへの感謝状、リーダー委嘱については各センターで実施。名誉会員、ボランティアオブザイヤー、ユースボランティアオブザイヤーの表彰については、他の行事等に合わせて実施を検討しております。

■国際ホテル専門学校では緊急事態宣言回避を前提に1学期授業を6月8日から7月31日、2学期授業を8月31日から11月20日に予定。5月中に1年生はグリーティングを、2年生は就職指導を中心に学生とオンライン面談を実施。6月第1週に全員が分散登校でオンライン授業オリエンテーションを実施します。また、1学期期間中は週1回のホームルーム（登校）も行い学生の様子をうかがいながら学校を再開していきます。ホテル実習は12月以降に、各学校行事も変更を余儀なくされていますが、スタッフ一同しっかりサポートしていく所存です。

（担当主事 横山弥利）

☆☆☆ インタビュー ☆82☆  
久保 勝昭さんに聴く  
横浜つるみクラブ



一初めてお会いしたのは、南東部時代ですね。

「そうかもしれません。私の入会は1983年、38歳でした」

一とういことは、戦後生まれ。

「1945年、終戦後13日目でした。疎開先の栃木県那須町のおカニコ小屋で生まれました。馬小屋だったらキリストの弟子になるころでした。すぐ横浜に戻り、0歳からハマっ子です」

一どんな子でしたか。

「親父は1945年に今の会社を立ち上げ、高度経済成長時代になったので、一緒に遊んだ記憶はほとんどありません。体が弱く、病気ばかりで、母親には随分心配をかけました」

一中・高で夢中になったことは。

「中学、高校ともブラスバンドでした。姉はピアノ、妹はクラシックギターの先生をして、父も三味線で身を立てられるくらいでした。良い環境でした。中学ではトロンボーン、高校ではテナーサックス、大学では、高校時代から興味を持っていたカントリー&ウエスタンバンドで、歌とベースを担当しました。今もC&Wをやっています。最初に入った横浜ノースクラブでもハワイアンバンドを作りました」

一大学では。

「専攻は経営学部でしたが、バンドにのめり込んで、授業を受けた記憶があまりありません」

一就職は。

「バンドばかりやっていたので、1年間大手の企業で新入社員教育

を受け、その後、父の手掛けた会社で新入社員として働くことになりました」

一YMCA、ワイズとの接点は。

「どちらも全く知りませんでした。近隣にはYMCAもなく、関内の横浜YMCAも今ほど存在感がありませんでした。父の友人の葬儀に代理で列席したら、その家のご息子が横浜ノースクラブのチャーターメンバーだったので。楽しそうな雰囲気だったので入会しました。でも5年くらいは仕事が忙しいこともあって、なかなかなじみませんでした。キリスト教儀式にも」

一当時の横浜ノースクラブは若く、地元の同窓の人が多く、楽しかったのでは。

「メンバーは30代半ばで仲間意識が強く、良好な関係がさまざまな活動に現れていました。自営業が多く、普段は活動に参加しにくいのですが、いったん仕事を離れると遊びに熱中する気持ちは、半端ではありませんでした」

一横浜ノースは、他のクラブと違っている感じがありました。でもYMCAの障がい児対象の「あめんぼ水泳教室」などを熱心に応援されていたし、ダンスパーティーでYMCAに大きな寄付をしていました」

一100万円もの収益を上げる秘訣があったのですか。

「10年以上続いたでしょうか。今だから話せますが、フルコースディナー付きとはいえ当時15,000円のチケットで100人〜150人集めることは大変でした。ダン池田バンドもかなり協力してくれましたが、殆どのメンバーが自腹を切っていたようです」

一久保さんは湘南・沖縄部長もやられ、横浜つづきクラブの設立準備をされましたね。

「部長は初めてのことだったので、戸惑うことが多かったのですね、区理事の藤井寛敏さん（東京江東）の指導を受けました。横浜

つづきクラブの設立では、良い経験をさせていただきました。発起人がクラブづくりのエキスパートの林茂博さんでしたから後についていくだけで楽でした。仮例会には全部出席しましたが、内容も濃く真面目にクラブづくりを話し合っていましたから、きっと立派なクラブになるだろうと確信していました」

一2010年6月の横浜ノースクラブの解散はショックでした。

「入会したばかりの方が亡くなったり、ベテランが体調を崩されたりで、何とか存続を図ったのですが、解散しました。本当に残念でした。その後、毎年OB会を行っています。メン、メネットがほとんど参加します。横浜北YMCAの応援もしてくれています。33年間のきずなは、ダテでなかったと思います」

一良い卒業生ですね。2019年に横浜つるみクラブを設立されましたね。ワイズでの忘れ得ぬ思い出は。

「入会して間もない1987年、東京湾に接岸した日本丸船上で北東部、東部、南東部の三部合同部会が開催され、400人の参加者の前で、横浜ノースのバンドが演奏して盛大な拍手を受けました。南東部長の福島正さんから、絶賛されました。33年経た今でも鮮明に覚えています。思えばあの時、併催したユースリーダーの会が、第1回YVLFだったのですね」

一2019年に横浜つるみクラブを設立されましたね。

「私は、『歌声広場』を県内3か所でやっていた。その中で、鶴見でクラブを作ろうと生麦の会場に集まる方に声を掛けたら7人の方が賛同してくれ、9人で立ち上げました」

一座右の銘はお持ちですか。

「地元出身の浅野財閥の浅野総一郎の『九転び十起き』です」

一有難うございました。

(吉田明弘)

## 私の大切な物⑥ 村野絢子

### 扇と百人一首

新型コロナウイルスの影響で私の最も苦手な片付けを始めた。35年分の整理は大仕事で、毎日8時間、気が付くと夕食の準備となる。さて始めると宝物が次々と出てくる。

まずは上等な和紙の袋の中に更に和紙で包まれた大小の扇があり、初めて広げて見た。何とそこには中国語で聖句、大(夫用)にはマタイ伝 11:28「疲れた者 重荷を負う者はだれでも私のもとに來なさい休ませてあげよう」、小(私用)にはヨハネ伝 6:51「私は天から下ってきた生きたパンである。それを食べるものは何時までも生きるであろう」と書かれていた。これを書かれたのは棚橋禾堂・書家である。友人の父上で、それまでも蔵書印、私印も頂いていたが箱書きを読むまで存じ上げていなかった。友人の入学式で恵泉女学院の河合道校長の話聞いて感動し熱心なクリスチャン信徒となられた。明治生まれの神社の家柄とお聞きしている。

更に隣にお住まいの奥村土牛先生からは「百賀」の扇を頂いている。金紙に「百才」土牛と落款がある見事な扇である。103才で逝去された。カスタドプリンがお好きでよくお届けした。

最後にどうしても欲しいとお願いして書いていただいたのが親友の西田紀子さん作「百人一首」。百首の読み札と取り札、計二百枚が手書きの素晴らしいかるたで、入れ物の箱も赤い布張りの手造り。頑張って手に入れた。お正月には横浜の銀行に頼まれて、店頭をかるたで飾りたいといわれ、何度もお貸ししたという。なかなかもったいなくて使えない。東京西クラブでお正月に源平に分かれ、かるた取りをしませんか。



## 今回のCOVID-19騒ぎで覚えたこと

神谷幸男

どこの会社が運営しているのか知らないが(知らなくとも何から差し支えもないが)、この騒ぎで「ZOOM」なるWEB会議方式なるものを知った。

4月24日に案内のあった日本YMCA 同盟が続けている「YMCA 共同の祈り オンライン礼拝」によって、また、偶然同日の午後、私も参加している地域の「NPO 法人未来をつなぐ子ども資金」の理事会を本日 19:00 からこの方式で行うから、以下に案内するやり方に従って参加せよとの理事長からのお達しに早速準備に取り掛かったが、悲しいかなどうもうまく行かない。「YMCA 共同の祈り オンライン礼拝」の場合も同様にうまく行かなかったため心ならずも参加できなかった。

後で判ったことだがその集会が始まる時刻でなければ交信参加できないとのこと。その後のメールで4月24日の理事会は参加

できる人が少なく流会となった。次回は5月10日朝10時から30分程度でトライするとのことであった。

このWEB会議は、スマホやカメラ・スピーカー付きのPCがあれば参加できるとのことなので、WEB音痴のご同輩共々もCOVID-19騒ぎ下でなくても活用したら面白いかなと思った。

その後、5月10日にこの日は夜でなく朝10時から上記NPOの5月度理事会を2回目のWEB会議で開くとの連絡を受けた。9時50分頃から待機して10時を待っていたが、なるほど10時になったらしかるべき画面が現われ、無事30分間の理事会は行われた。

やってみれば、操作も左程難しくもなく、と言ってもその間2~3のやり方質問をしたが、WEB音痴の小生でも十分初期の目的は達することが出来た。

## 編集後記

2か月余になる外出自粛で生活の調子が狂ってきていませんか。こんな中、我慢と頑張りですまずまず通常生活を営んでおられることと思います。今月も、原稿を寄稿していただき有難うございました。

コロナ禍で社会の変化に呼応してブリテンにあっても臨機応変に対応しなければならぬときに、左上腕骨骨折に見舞われ、活動能力大幅減少、ブリテン主要部をはじめ多くの部分を鳥越さんに丸投げするという情けなきに意気消沈。

そんなわけで今月号も発行が遅れてお詫びいたします。

(SK)

やる気情報満載  
毎月15日に発信

Change! 2022

EMCニュース

ワイズドットコムで配信されます